



平成26年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月12日

上場会社名 小林産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8077 URL <http://www.kobayashi-metals.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 檜垣 俊行
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役営業本部長 (氏名) 廣瀬 正信 (TEL) 06-6535-3690
 四半期報告書提出予定日 平成26年6月13日 配当支払開始予定日 平成26年7月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年10月期第2四半期の連結業績(平成25年11月1日～平成26年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第2四半期	10,673	8.9	322	14.6	422	△14.8	260	△0.8
25年10月期第2四半期	9,802	8.1	281	13.5	495	33.4	262	35.3

(注) 包括利益 26年10月期第2四半期 533百万円(△77.0%) 25年10月期第2四半期 2,325百万円(223.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年10月期第2四半期	9.35	—
25年10月期第2四半期	9.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年10月期第2四半期	23,699	11,974	50.2
25年10月期	22,864	11,524	49.9

(参考) 自己資本 26年10月期第2四半期 11,887百万円 25年10月期 11,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	2.50	—	3.00	5.50
26年10月期	—	3.00	—	—	—
26年10月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年10月期の連結業績予想(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,330	6.9	770	23.0	940	△0.6	600	11.7	21.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年10月期2Q	28,007,448株	25年10月期	28,007,448株
26年10月期2Q	131,165株	25年10月期	131,076株
26年10月期2Q	27,876,297株	25年10月期2Q	27,876,469株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(追加情報)	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記	10
継続企業の前提に関する注記	10
株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年11月1日～平成26年4月30日)におけるわが国経済は、新興国経済の減速による影響が懸念されたものの、政府の経済・金融政策や消費増税前の駆け込み需要などにより、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループが強みを持つ建設、土木業界におきましては、引き続き震災復興需要に加え、消費増税前の駆け込み需要が見られましたが、人手不足や原材料価格の上昇に加えて受注獲得競争により、景況感は緩やかな改善にとどまりました。

このような状況の下で鋳螺部門では、在庫量の拡大や基幹システムの更新による受注手続の効率化により、受注の拡大に注力しました。この結果、当部門の売上高は9,452百万円となりました。

コンクリート二次製品関連金物部門では、新規人材の投入により引き続き商圏拡大に注力しましたが、首都圏を中心に人手不足による工事停滞などが発生し、売上高の増加は穏やかなものとなりました。この結果、当部門の売上高は1,220百万円となりました。

また、工具販売につきましては、専売権を獲得した商品の集中購買と集中販売の推進をはじめ、他部門との連携を強めることで、顧客層の拡大を図ったほか、コスト削減を積極的に進めるなど、収益基盤の強化に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、10,673百万円で、前年同四半期比870百万円、8.9%の増加となりました。営業利益は322百万円で、前年同四半期比41百万円、14.6%の増加となりました。経常利益は、422百万円で、前年同四半期比73百万円、14.8%の減少となりました。第2四半期純利益は、260百万円で、前年同四半期比2百万円、0.8%の減少となりました。

今後の見通しとしましては、消費増税後の駆け込み需要の反動が予想されるものの、製造業企業などの設備投資に支えられ、上半期同様の受注環境が続くものと思われま

す。当社グループとしましては、小ロット化・複雑化する顧客ニーズに対応するために、地域密着営業をさらに強化するとともに、物流部門の改善を促進していきます。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況について

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて363百万円増加し11,876百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が115百万円増加、商品が242百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて471百万円増加し11,822百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券が493百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて199百万円増加し8,216百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が277百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて185百万円増加し3,508百万円となりました。この主な要因は、繰延税金負債が210百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて450百万円増加し11,974百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が177百万円およびその他有価証券評価差額金が301百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況について

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローに係る収入240百万円、投資活動によるキャッシュ・フローに係る支出33百万円、財務活動によるキャッシュ・フローに係る支出93百万円となったこと等により、前連結会計期間末と比べ115百万円増加し、1,404百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、240百万円（前年同四半期は321百万円の資金の使用）となりました。前年同四半期と比べ561百万円増加しております。主な要因は、税金等調整前四半期純利益422百万円および仕入債務の増加275百万円に対し、たな卸資産の増加242百万円および法人税等の支払額219百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、33百万円（前年同四半期は43百万円の資金の使用）となりました。前年同四半期と比べ9百万円減少しております。主な要因は、有形固定資産の取得による支出25百万円および無形固定資産の取得による支出8百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、93百万円（前年同四半期は112百万円の資金の獲得）となりました。前年同四半期と比べ206百万円減少しております。主な要因は、短期借入金の純増減額10百万円および配当金の支払額83百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年12月12日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

(法人税率の変更等による影響)

平成26年3月31日に「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が公布され、平成26年4月1日以後に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課せられないことになりました。これに伴い、平成26年11月1日に開始する連結会計年度において解消が見込まれる一時差異については、繰延税金資産および繰延税金負債を計算する法定実効税率が従来の38.0%から35.6%に変更になります。

なお、この税率変更に伴う影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,288,791	1,404,556
受取手形及び売掛金	7,484,061	7,429,254
商品	2,579,845	2,822,433
その他	171,559	233,282
貸倒引当金	△11,059	△12,679
流動資産合計	11,513,197	11,876,846
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	767,017	744,987
機械装置及び運搬具(純額)	61,528	70,467
土地	2,241,810	2,241,810
その他(純額)	65,619	58,717
有形固定資産合計	3,135,975	3,115,982
無形固定資産		
投資その他の資産	91,434	90,257
投資有価証券	8,015,537	8,509,170
破産更生債権等	5,732	5,543
その他	108,712	107,529
貸倒引当金	△5,732	△5,543
投資その他の資産合計	8,124,250	8,616,700
固定資産合計	11,351,660	11,822,939
資産合計	22,864,857	23,699,786
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,933,121	4,210,432
短期借入金	3,450,000	3,440,000
賞与引当金	152,291	138,539
役員賞与引当金	12,000	—
その他	470,477	427,966
流動負債合計	8,017,890	8,216,938
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	200,000	200,000
繰延税金負債	2,366,888	2,577,187
退職給付引当金	227,351	228,239
長期未払金	25,467	—
長期預り保証金	3,000	3,000
固定負債合計	3,322,707	3,508,426
負債合計	11,340,598	11,725,365

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,712,335	2,712,335
資本剰余金	1,728,146	1,728,146
利益剰余金	2,622,426	2,799,571
自己株式	△24,542	△24,572
株主資本合計	7,038,365	7,215,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,392,707	4,694,499
繰延ヘッジ損益	△1,381	△1,311
為替換算調整勘定	△11,194	△21,526
その他の包括利益累計額合計	4,380,131	4,671,660
少数株主持分	105,762	87,279
純資産合計	11,524,259	11,974,420
負債純資産合計	22,864,857	23,699,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
売上高	9,802,552	10,673,282
売上原価	7,661,807	8,444,863
売上総利益	2,140,745	2,228,419
販売費及び一般管理費	1,859,695	1,906,222
営業利益	281,049	322,197
営業外収益		
受取利息	561	870
受取配当金	50,047	67,592
受取賃貸料	17,442	6,300
デリバティブ評価益	95,089	—
仕入割引	36,506	41,153
為替差益	21,343	426
その他	13,070	8,737
営業外収益合計	234,061	125,081
営業外費用		
支払利息	11,896	13,474
デリバティブ評価損	—	816
売上割引	6,614	9,665
その他	884	1,146
営業外費用合計	19,395	25,102
経常利益	495,715	422,175
特別利益		
固定資産売却益	—	497
特別利益合計	—	497
税金等調整前四半期純利益	495,715	422,673
法人税、住民税及び事業税	223,187	158,760
法人税等調整額	8,293	△669
法人税等合計	231,481	158,090
少数株主損益調整前四半期純利益	264,233	264,582
少数株主利益	1,365	3,808
四半期純利益	262,868	260,774

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	264,233	264,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,035,314	286,388
繰延ヘッジ損益	10,843	69
為替換算調整勘定	15,210	△17,219
その他の包括利益合計	2,061,369	269,238
四半期包括利益	2,325,602	533,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,288,434	552,303
少数株主に係る四半期包括利益	37,168	△18,483

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	495,715	422,673
減価償却費	46,125	52,147
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,004	887
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,221	1,430
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,000	△12,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,075	△13,752
受取利息及び受取配当金	△50,608	△68,463
支払利息	11,896	13,474
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△497
売上債権の増減額(△は増加)	△129,407	56,656
たな卸資産の増減額(△は増加)	△391,578	△242,587
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△98,788	△77,683
仕入債務の増減額(△は減少)	225,519	275,604
デリバティブ評価損益(△は益)	△95,089	816
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△48,925	21,761
預り保証金の増減額(△は減少)	1,000	—
長期未払金の増減額(△は減少)	△13,330	△25,467
小計	△56,765	405,002
利息及び配当金の受取額	50,589	68,443
利息の支払額	△11,889	△13,493
法人税等の支払額	△303,181	△219,268
営業活動によるキャッシュ・フロー	△321,246	240,684
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	—	497
有形固定資産の取得による支出	△20,085	△25,878
無形固定資産の取得による支出	△23,625	△8,836
投資その他の資産の増減額(△は増加)	62	314
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,647	△33,901
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	182,400	△10,000
自己株式の取得による支出	—	△30
配当金の支払額	△69,691	△83,629
財務活動によるキャッシュ・フロー	112,709	△93,659
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,381	2,641
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△239,803	115,765
現金及び現金同等物の期首残高	1,710,189	1,288,791
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,470,385	1,404,556

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年11月1日 至 平成25年4月30日)

当社グループは、鉄鋼材の卸売およびこれに附帯する事業を営む単一事業につき、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年11月1日 至 平成26年4月30日)

当社グループは、鉄鋼材の卸売およびこれに附帯する事業を営む単一事業につき、記載を省略しております。